

Press Release

【報道関係各位】

2022年4月吉日
ポーラ美術館**ポーラ美術館 開館 20 周年を期に 2032 年ビジョンを設定**
新たなビジョン「心をゆさぶる美術館」を掲げて、近代・印象派＋現代アートへの展開に注力

ポーラ美術館（神奈川県箱根町）は、2022 年度より新たに掲げる美術館の運営ビジョンと 2032 年までの中長期計画における主な取り組みを定めました。

■ 2032 年ビジョン「心をゆさぶる美術館」

ポーラ美術館では、開館 10 周年以降、森の遊歩道の整備（2013 年）やアトリウムギャラリーの開設（2017 年）を進めるとともに、知識ではなく感性による作品のアプローチを導入した展示として、コレクションと現代美術を組み合わせた「シンコペーション」展（2019 年）や開館以来初となる現代作家の個展、「ロニ・ホーン」展（2021～22 年）を開催することで、当館ならではの新たな価値創造に取り組んで参りました。

2022 年、ポーラ美術館は開館 20 周年を迎えます。経済、社会、生活などあらゆる面でこれまでにない変化に晒されて、未来を見通すことが難しい時代の中、これからの美術館はどうあるべきなのかを問い、2032 年ビジョンとして「心をゆさぶる美術館」を定めました。また、その実現に向けた活動とサステナビリティへの取り組みも開始します。

時代に寄り添いつつ、美術や自然、人間を通して多様な価値観や新しいもの見かたや考えかた、あるいは心に残る体験を提供する、開かれた出あいの場となるべく、当館をとりまくステークホルダーの皆さまとのコミュニケーションを通じて「心をゆさぶる」瞬間を共創してまいります。

Vision 2032

心をゆさぶる美術館

心で深く感じ取り、気づきを得ながら、
より充実した人生を歩むきっかけになる場となる。

Mission Statement

いま、世界はかつてない転換期を迎えています。

美と出あう喜びや感動は、未知なる場所へ一歩踏み出す勇気と力になるはずです。

美術、自然、建築と人々が響き合い、新たなストーリーが紡ぎ出される。

そんな心ゆさぶられる瞬間を、私たちはお届けします。

■ 2032年ビジョン実現に向けた取り組み

ポーラ美術館は新ビジョン「心をゆさぶる美術館」を起点に、今後2032年度までの10年間でビジョンの実現に向けたさまざまな取り組みを進めてまいります。

活動1 新たな価値、多様な価値の創出

「近代・印象派」から「近代・印象派 + 現代アート」への展開

- 1) 新たな可能性や未来に繋がるコレクションの拡充
- 2) 既成の価値を超え、観る人々を触発する展覧会の開催
- 3) 個人の感性を豊かにするラーニング活動の充実
- 4) 作品の魅力と価値を高める調査・研究の推進
- 5) アーカイブの充実と公開による文化的資産の社会還元

活動2 コミュニケーション強化

高感度で多面的な情報発信の充実

- 1) 国内外に向けた高密度な情報発信とファンづくり
- 2) オンラインを活用したコミュニケーションの充実
- 3) 地域との協業による共栄
- 4) 未就学児および小～大学生向けの教育プログラムの推進
- 5) 来館者データの基盤構築による施策精度向上
- 6) ファンとのコミュニケーション向上を目指した会員制度の充実

活動3 インフラ・体制強化

活動1.2を実現させるための基盤強化


- 1) 組織運営の強化・目標管理とPDCAサイクルの徹底
- 2) レストラン、カフェ、ミュージアムショップの魅力向上
- 4) ホスピタリティ向上
- 5) 設備改善及び自然環境の維持・向上

■ サステナビリティへの取り組み

活動方針

箱根の自然と共生する美術館として、人々や環境との繋がりを大切にしながら様々な取組を通じ、持続可能な社会を目指します。

① 先端技術・サービスによる Well-Being の向上

関連 SDGs	KPI 項目	2021 年実績値 (単年)	2030 年目標 (2021 からの累計)
	誰でも利用しやすい環境を目指した取り組み件数	1 件	20 件
	子ども向け鑑賞会などの取り組み件数	1 件	20 件
	対話型アートワークショップの取り組み件数	63 件 (2017 年以降)	200 件
	レクチャー、ギャラリートークなどの取り組み件数	4 件	100 件
	女性作家や多様性に焦点をあてた調査研究やコレクション、企画等の取り組み件数	23% (購入リストの女性作家比率) 新設 KPI (調査・企画)	50% (単年) 12 件


② 地域活性

関連 SDGs	KPI 項目	2021 年実績値 (単年)	2030 年目標 (2021 からの累計)
	近隣施設との連携施策件数	1 件	15 件
	箱根町など官公庁との連携施策件数	1 件	15 件
	地産地消含め、食材や商材の倫理性や安全性向上のための取組件数	2 件	20 件


③ 文化芸術への興味関心

関連 SDGs	KPI 項目	2021 年実績値 (単年)	2030 年目標 (2021 からの累計)
	国内巡回展の開催件数	国内 21 件 (2006 年以降)	15 件
	海外展の開催件数	1 件 (2013 年以降)	2 件
	芸術教育機関の生徒・学生誘致件数	9 件	200 件

④ 人材活躍

関連 SDGs	KPI 項目	2021 年実績値 (単年)	2030 年目標 (2021 からの累計)
	調査・研究などの公表数	1 件	12 件
	来館者対応における館内表彰件数	新設 KPI	20 件
	館スタッフ満足度	3.4/5P	4.2/5P

⑤ 環境対応

関連 SDGs	KPI 項目	2021 年実績値 (単年)	2030 年目標 (2021 からの累計)
	使用電力の再生可能エネルギー比率	新設 KPI	100% (単年)
	施工材再利用率	新設 KPI	50% (単年)
	ミュージアムグッズの包装材、緩衝材プラスチック削減率	新設 KPI	100% (単年)
	環境や社会に配慮したミュージアムグッズなどの取組件数	2 件	50 件
	業務車両、通勤者の EV・PHV 等の比率	新設 KPI	50% (単年)
	EV 充電スポット数	新設 KPI	10 台
	周辺の森の希少植物増加率	新設 KPI	300%

■ 次回の企画展概要

ポーラ美術館開館 20 周年記念展「モネからリヒターへ—新収蔵作品を中心に」

会期：2022 年 4 月 9 日（土）～9 月 6 日（火）

会場：ポーラ美術館 展示室 1～5、アトリウム ギャラリー、アトリウムロビー、森の遊歩道

主催：公益財団法人ポーラ美術振興財団 ポーラ美術館

出品点数：絵画、版画、彫刻他 約 110～120 点（予定）

おもな出品作家：

<第 1 部 コレクション+新収蔵作品> ベルト・モリゾ、クロード・モネ、ピエール・オーギュスト・ルノワール、ロベール・ドロネー、ニコラ・ド・スタール、フェルナン・レジェ、ベン・ニコルソン、アンリ・マティス、レオナルド・フジタ(藤田嗣治)、関根正二、松本峻介、里見勝蔵

<第 2 部 新収蔵作品> ヴィルヘルム・ハマスホイ、ジャン・デュビュッフェ、モーリス・ルイス、ドナルド・ジャッド、ヘレン・フランケンサラー、パット・ステア、ゲルハルト・リヒター、アニッシュ・カプーア、クリス・ウィン・エヴァンス、ロニ・ホーン、スーザン・フィリップス、山口長男、山田正亮、難波田龍起、猪熊弦一郎、斎藤義重、白髪一雄、李禹煥、田中敦子、中西夏之、中林忠良、杉本博司、三島喜美代

展覧会特設サイト：<https://www.polamuseum.or.jp/sp/monettorichter/>

画像：ゲルハルト・リヒター 《抽象絵画(649-2)》1987 年 油彩/カンヴァス ポーラ美術館

© Gerhard Richter 2021 (05102021)



■ ポーラ美術館について

2002 年に「箱根の自然と美術の共生」をコンセプトに神奈川県箱根町に開館。印象派から 20 世紀にかけての西洋絵画を中心としたコレクションを核とする展覧会を開催する一方で、現代美術の第一線で活躍する作家たちの作品も展示し、同時代の表現へと展望を拡げている。富士箱根伊豆国立公園という立地を生かした森の遊歩道では四季折々の豊かな自然を楽しめる。



開館時間：午前 9 時～午後 5 時（入館は午後 4 時 30 分まで）

休館日：会期中無休 ※悪天候による臨時休館あり

所在地：神奈川県足柄下郡箱根町仙石原小塚山 1285

TEL：0460-84-2111

入館料：大人 ¥1,800/シニア割引（65 歳以上）¥1,600/大学・高校生 ¥1,300

中学生以下無料/障害者手帳をお持ちのご本人及び付添者（1 名まで）¥1,000

※すべて税込 団体割引、各種前売り券による割引あり

公式サイト：<https://www.polamuseum.or.jp/>

<報道関係者お問合わせ先>

ポーラ美術館 広報担当：田中・稲見 TEL:0460-84-2111/ FAX:0460-84-3108

ポーラ美術館広報事務局：屋木・名取 TEL:03-4570-3172/ FAX:03-4580-9128

Mail:polamuseum.pr@prap.co.jp